

令和6年度 社会科 公民的分野 <第3学年> 年間指導計画と評価規準

社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵（かん）養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

社会科 公民的分野 第3学年の目標

現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事

象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵（かん）養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

第3学年年間指導計画(評価規準)

★ 知は、知識・技能 思は、思考・判断・表現 主は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導内容	評価規準		評価方法
5	第1部 現代社会 第1章 現代社会と文化 第1節 現代社会の特色 ◇節の問い◇ 情報化、グローバル化、少子高齢化は私たちの生活にどのような影響を及ぼしているのだろうか。	○情報化、グローバル化、少子高齢化が現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現させる。	知	現代日本の社会では情報化、グローバル化、少子高齢化など変化がみられることを理解し、その知識を身につけている。	課題・ノート 定期考査
			思	情報化、グローバル化、少子高齢化が現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主	情報化、グローバル化、少子高齢化に関する事象を身近なところから見つけ、主体的に問題解決しようとし、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。	ワークシートの記述 授業観察
6	第2節 私たちの生活と文化 ◇節の問い◇ なぜ日本の文化を知り、伝統文化を受け継ぐ必要があるのだろうか。	○現代社会における文化の意義や影響を理解させるとともに、文化の継承と創造の意義について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現させる。	知	わが国の伝統や文化に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に読み取ることを通して、その意義や影響を理解し、その知識を身につけている。	課題・ノート 定期考査
			思	現代社会における文化の意義や影響、文化の継承と創造の意義について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主	わが国の伝統や文化について、自分の体験や身近な事例と結びつけて生活とのかかわりを考え、文化の継承と創造に積極的にかかわろうとしている。	ワークシートの記述 授業観察
6	第2章 現代社会をとらえる枠組み ■章の問い■ 社会生活において、きまりにはどのような意義があるのだろうか。	○対立と合意、効率と公正などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。	知	現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。①人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。	課題・ノート 定期考査
			思	対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主	現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	ワークシートの記述 授業観察

6 5 7	第2部 政治 第1章 日本国憲法 第1節 民主主義と日本国憲法 ◇節の問い◇ 民主社会ではなぜ法に基づく政治が大切なのだろうか。	○小学校社会科の学習との円滑な接続を図り、法に基づく政治の大切さについて、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現させる。	知	法の意義と法に基づく政治の大切さ、日本国憲法の原則、天皇の地位と国事行為について理解し、その知識を身に付けている。	課題・ノート 定期考査
			思	民主的な社会生活にかかわる様々な事象から学習課題を見だし、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主	民主的な社会生活にかかわる様々な事象をもとに、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。	ワークシートの記述 授業観察
7	第2節 基本的人権の尊重 ◇節の問い◇ 日本国憲法では、なぜ基本的人権が保障されているのだろうか。	○基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方を理解させるとともに、日本国憲法で基本的人権が保障されていることの意義について、多面的・多角的に考察し、表現させる。	知	基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方を理解し、その知識を身に付けている。	課題・ノート 定期考査
			思	基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方と法との関連について、個人の尊重の視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主	人間の尊重についての考え方を踏まえて、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。	ワークシートの記述 授業観察
7	第3節 法の支配を支えるしくみ ◇節の問い◇ 日本国憲法では、なぜ国の統治について規定しているのだろうか。	○我が国では日本国憲法が最高法規であり、日本国憲法に基づく政治によって、国民の自由と権利が守られていることを理解させる。	知	収集した資料の中から、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることについての学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	課題・ノート 定期考査
			思	我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主	日本国憲法が国の統治について規定していることについて、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。	ワークシートの記述 授業観察
9	第2章 民主政治 第1節 民主政治と私たち ◇節の問い◇ 個人を尊重し、基本的人権を守る政治を実現するため、どのようなしくみがあるのだろうか。	○個人を尊重し、基本的人権を守る政治を実現するためには、公正な世論の形成や選挙など、国民の政治参加と国民の意思を国政や地方の政治に十分反映させることが必要であることを理解させる。	知	国民の政治参加や国民の意思を政治に十分に反映させるしくみについての資料を適切に調べまとめている。	課題・ノート 定期考査
			思	議会制民主主義を守り、発展させるための関わり方を選択・判断して、適切に表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主	議会制民主主義が我が国の政治の原則であることに着目して、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。	ワークシートの記述 授業観察
9	第2節 国の政治のしくみ ◇節の問い◇ 国会、内閣、裁判所は、国民主権を守るために、どのような役割を果たすべきなのだろうか。	○国会を中心とする我が国の民主政治のしくみのあらましや政党の役割、法に基づく公正な裁判の保障について理解させる。	知	国の政治のしくみに関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	課題・ノート 定期考査
			思	国会、内閣、裁判所の国民主権を守るための役割と課題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主	国の政治のしくみについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。	ワークシートの記述 授業観察
10	第3節 地方自治と私たち ◇節の問い◇ 地方自治や民主政治を発展させるために、私たちはどのような政治参加をすべきなのだろうか。	○地方自治の基本的な考え方について理解し、地方自治を発展させるために、私たちはどのように地方自治体の政治に参加すべきかについて、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現させる。	知	地方公共団体の政治のしくみに関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	課題・ノート 定期考査
			思	地方自治体の政治と政治参加に関する課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主	身近な事例から地方自治体の政治に対する関心を高め、民主政治の基本的な考え方とそれに基づく地方公共団体の政治のしくみについて、意欲的に追究している。	ワークシートの記述 授業観察

11	第3部 経済 第1章 市場経済 第1節 私たちの生活と経済 ◇節の問い◇ なぜ市場経済というしくみがあるのだろうか。	○身近な消費活動を中心に、経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。	知	市場経済においては、価格には人的・物的資源を効率よく配分する働きがあることを理解し、その知識を身につけている。	課題・ノート 定期考査
			思	経済活動や市場経済の意義について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主	経済活動や市場経済の意義について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を解決しようとしている。	ワークシートの記述 授業観察
12	第2節 消費者と経済 ◇節の問い◇ 経済活動を活発にしていくために、私たち消費者はどのような役割や責任を果たすべきなのだろうか。	○経済活動を活発にしていくための消費者の役割と責任を理解させるとともに、消費者の保護など消費者をめぐる問題について、政府の取り組みなどを理解させる。	知	国や地方公共団体は消費者の権利の尊重およびその自立の支援のために、消費者政策を推進する役割を担っていることを理解し、その知識を身につけている。	課題・ノート 定期考査
			思	経済活動を活発にするための消費者の役割や責任について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主	個人の消費生活に関する諸問題に着目し、主体的に問題解決しようとしたり、学習したことを自らの消費生活に生かそうとしている。	ワークシートの記述 授業観察
12	第3節 企業と経済 ◇節の問い◇ 経済を活発にいくために、企業はどのような役割や責任を果たすべきなのだろうか。	○現代の生産や金融のしくみや働きを理解させるとともに、経済を活発にしていくための企業の役割と責任について考えさせる。その際、社会生活における職業の意義と役割および雇用と労働条件の改善について、勤労の権利と義務、労働組合の意義および労働基準法の精神と関連づけて考えさせる。	知	企業の生産活動や金融に関する資料を、さまざまな情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	課題・ノート 定期考査
			思	企業の生産活動や金融にかかわる様々な事象から課題を見いだし、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主	企業の生産活動や金融に関する諸問題について、主体的に問題解決しようとしたり、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	ワークシートの記述 授業観察
1	第4節 これからの日本経済 ◇節の問い◇ 世界経済の変動の中で、日本経済にはどのようなことが求められているのだろうか。	○「現代日本の特色」についての学習と関連付けながら、グローバル化の進行により、日本経済が世界経済の影響を強く受けていることを理解させるとともに、これからの日本経済の発展のために必要なことを多面的・多角的に考察し、表現させる。	知	日本経済における世界経済の影響に関する資料を、さまざまな情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	課題・ノート 定期考査
			思	日本経済の発展のためにこれからの日本企業に求められることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主	グローバル化が進行する中、日本経済の発展について、主体的に問題解決しようとしたり、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	ワークシートの記述 授業観察
1	第2章 財政 ■章の問い■ 国民の生活と福祉の向上を図るために、政府はどのような役割を果たすべきなのだろうか。	○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。	知	社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。また、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。	課題・ノート 定期考査
			思	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主	国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	ワークシートの記述 授業観察
2	第4部 国際 第1章 国際社会 第1節 紛争のない世界へ ◇節の問い◇ 国際社会においては、どのような国際協調が必要なのだろうか。	○国際社会においては、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力および国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。	知	国際協調のあり方や国際機構の役割について理解し、その知識を身につけている。	課題・ノート 定期考査
			思	国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力について、課題を見いだし、対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主	国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい国際協調のあり方を考えようとしている。	ワークシートの記述 授業観察

2	第2節 貧困解消と環境保全 ◇節の問い◇ 地球規模の社会的課題を解決していくために、どのような国際協調が求められるのだろうか。	○貧困,地球環境,資源・エネルギーなどの地球規模の社会課題に対して,その現状と背景を理解し,解決のために求められる国際協調について,多面的・多角的に考えさせる。	知	温室効果ガスの削減に向けての国際的な取り組みと課題,日本の対応について理解し,その知識を身につけている。	課題・ノート 定期考査
			思	地球環境,資源・エネルギー,貧困などの課題について,対立と合意,効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し,その過程や結果を適切に表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主	地球温暖化防止に対する国際社会とわが国の取り組みに関心をもち,自分たちが協力できることを考えようとしている。	ワークシートの記述 授業観察
3	第2章 課題の探究	○持続可能な社会を形成することに向けて,社会的な見方・考え方を働かせ,課題を探究する活動を通して,次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。	知	評価対象としない	課題・ノート 定期考査
			思	社会的な見方・考え方を働かせ, 私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察, 構想し, 自分の考えを説明, 論述している	ワークシートの記述 定期考査
			主	私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	ワークシートの記述 授業観察